

目 次

はじめに

研究の目的と方法 1

第 I 部

馬の特性を障害のある子どもの教育に活かす 滝坂 信一 5
障害のある子どもの教育素材としての「馬」がもつ可能性 加藤 守松 13
馬を用いた取り組みにおいてより良い馬との関係を作るために 川嶋 舟 17

第 II 部

Aさんの乗馬コース初挑戦 笹本 健 25
「馬」のもつ魅力と子ども達の活動 當島 茂登 29
ポニーを用いた特殊学級の子どもたちへの指導 飯島 友子 35
地域交流活動の一環としての乗馬 宮林 文代 41
馬を用いた活動導入の試み 鈴木 卓郎 45
養護学校における在来馬とのかかわりを活かした学習の試み 安川千壽子 51
馬を用いた指導の開始と充実した展開のために 滝坂 信一 71

第 III 部

大洋村におけるポニー活動事業 深野 聡 89

第 IV 部

教育にとっての動物の存在の意味 滝坂 信一 111
盲・聾・養護学校における動物とのふれあい 滝坂 信一
—全国調査の結果にみる実態と展望— 笹本 健
當島 茂登
徳永亜希雄 117

今後の課題と展望 129

* 本報告書中の写真は関係者の承諾を得て掲載しています。